



本と一緒

～読書は人生の羅針盤～

「語りのコンサート」 入場無料

プログラム

10月11日(土)
角館交流センター

10月12日(日)
北秋田市文化会館ファルコン

- 13:00 受付
- 13:30 子どもたち(小学生・中学生・高校生)の読み聞かせ
- 14:00 馬頭琴演奏・モンゴル舞踊
「スーホの白い馬」読み語り
- 14:50 秋田弁の昔っこ語り
- 15:10 おはなしボランティアの読み語り

プログラム

10月26日(日)
秋田県児童会館

- 9:30 受付
- 10:00 子どもたち(小学生・中学生)の読み聞かせ
★児童会館遊戯コーナー
- 10:45 秋田弁の昔っこ語り ★けやきホール
- 11:05 おはなしボランティアの読み語り
- 昼食休憩
- 12:30 いわむらかずお氏 - 講演 「わたしの絵本と自然と子ども」
- 13:40 藤田のぼる氏、宮川健郎氏、いわむらかずお氏
3氏によるフォーラム ～本が伝える・本から伝わる～
- 15:10 馬頭琴演奏・モンゴル舞踊「スーホの白い馬」読み語り

馬頭琴演奏・ モンゴル 舞踊



馬頭琴奏者

バヤラトさん

モンゴル舞踊の踊り手

サローラさん

中国内モンゴル自治区シリンゴル県の遊牧民家の出身。
お二人は、故郷の子どもたちに学資を贈るチャリティーコ
ンサートなども開催している。現在、仙台市在住。

いわむら かずお氏



プロフィール

東京都生まれ。東京藝術大学工芸科卒。1983年に出版された『14ひきのひっこし』・『14ひきのあさごはん』から始まる14ひきのシリーズは、ひっこしやピクニック、いもほり、おつきみ、ソリ遊びといった、自然とともに暮らす家族の喜びを描き、世界で1,000万部を超えるロングセラーとなっている。

子どものための哲学書とも言える『かんがえるカエルくん』など、擬人化した動物を主人公として描く作品が多い。1975年、栃木県芳賀郡益子町に移り住み、自然の中で創作活動を続けると共に1998年に同県那須郡馬頭町(現那珂川町)に「いわむらかずお絵本の丘美術館」を開館し、活動をつづけている。

受賞歴

『14ひきのあさごはん』で絵本にっぽん賞
『14ひきのやまいも』ほかで小学館絵画賞
『ひとりぼっちのさいしゅうれっしや』で
サンケイ児童出版文化賞
『かんがえるカエルくん』で講談社出版文化賞絵本賞

藤田のぼる氏

プロフィール

1950年、秋田県(旧中仙町)生まれ。秋田大学卒業後、東京都内の私立小学校教員を経て、日本児童文学者協会に勤務、現在事務局長。児童文学の評論、創作の両面に活躍。

主な著書に『児童文学に今を問う』(教育出版センター)『児童文学への3つの質問』(てらいんく)など。児童向け創作に、秋田を舞台にした「雪咲く村へ」(岩崎書店)『猫を上げて一ぼくらのプラスバンド物語』(文芸堂)や本年度産経児童出版文化賞フジテレビ賞を受賞した『みんなの家出』(福音館書店)など。宮川健郎氏との共編に「今日はこの本読みたいな」(全16巻、偕成社)などがある。

宮川健郎氏

プロフィール

1955年、東京都生まれ。児童文学評論家、武蔵野大学教授。立教大学大学院修了。宮城教育大学助教授などを経て現職。近現代の児童文学について幅広く研究し、教科書編集や国立国際子ども図書館の展示監修など多方面で活躍。

主な著書に、『国語教育と現代児童文学のあいだ』(日本書籍)『現代児童文学の語るもの』(NHKブックス)『ズッコケ三人組の大研究』(共編、ポプラ社)などの他、ジュニア向けの『小学生のための文章レッスン みんなに知らせる』(玉川大学出版部)『物語もっと深読み教室』(岩波ジュニア新書)など。児童文学作家の宮川ひろ氏は母。

Librarian-ship Club (LSC)とは

Librarian-ship Club (LSC)は、秋田県の図書館関係者をはじめとする有志が自主的に運営している、会員・会費制の学校図書館研究グループです。学校図書館に関心のある方は、どなたでも加入できます。

1993年に活動を始め、研究を冊子にまとめて出版したり、2005年からはフェスタを開催して、読書や学校図書館の重要性についてお知らせしています。